

すがわら進 News

川崎市議員

小さな声を大きな力に

すがわら進ニュース 第161号

発行者：公明党川崎市議団
 発行人：菅原進
 住所：川崎市多摩区登戸3095
 電話：044-933-2043
 印刷所：光明印刷
 (幸区塚越4-345-105)



ずっと住み続けたい「多摩区」を創りたい。
 それが「すがわら進」の夢です。

平成29年 第2回 定例会(6月議会) 「すがわら進」議員は、平成29年第2回定例会の代表質問で「中小企業支援」など3項目を担当。一般質問でも3項目を質問しました。

代表質問のポイント

1. 中小企業支援について=川崎市中小企業活性化条例に基づき、市内中小企業の活性化へ具体的な施策を求めました。
2. 「一人親方」の支援について=「一人親方」とは労働者を雇用しないで土木・建設等に携わる建設業者。そうした事業者の安全や健康を守る法律が公明党の推進で施行されました。市として具体的な推進や周知を強く訴えました。
3. 観光施策について=映画などのロケの誘致や2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据えた市の観光資源の発掘や屋形船による観光クルーズなどの推進を提案しました。



一般質問の3項目

1 登戸地域のさらなる経済的活性化を図れ!

登戸土地区画整理事業は現在80%、さらなる計画通りの推進を要請しました。

また、川崎市の形状はヨコ長の都市、しかし市民のライフスタイルはタテ移動が多く隣接する近隣都市との交流の重要性を指摘。

その具体化の一環として市北部の拠点である登戸地域の重要性を強調。登戸駅前のペDESTリアンデッキを利用した交流演奏会の開催を提案しました。さらに、平成30年に予定されている狛江市花火大会を利用するなど様々な交流の場を創出するよう要請しました。

多摩区長からは、今後も一段と登戸地域の発展に力を注ぐ、との答弁を引き出しました。



2 国際都市・川崎にふさわしい臨海部の活性化を!

発展する川崎市の臨海部。30年後の未来像について質問。特に同地に拠点を置く新エネルギー施策としての水素発電などの推進や生命科学の分野におけるナノ技術によるガン治療の促進を主張しました。さらに、ロボット技術を活用した超高齢化社会におけるライフスタイルの向上とそこから生まれる医療費縮減に言及しました。

また、臨海部に環境技術などの革新を発信する大規模な大型展示場を国と連携して建設するよう将来の展望についても提案しました。

市長は「国際都市として世界に向けて優れた技術やイノベーションの成果を発信する臨海部にしていく」と前向きに取り組む姿勢を示しました。



川崎市の京浜臨海部

3 市の環境技術で世界に貢献、国際交流も推進せよ!

本年2月、とどろきアリーナで開催された川崎国際環境技術展には過去最高の世界45カ国から参加がありました。

深刻化する地球温暖化への対策として世界トップの環境技術をもって本市が国連のパリ協定を踏まえ世界に貢献することを強く望みました。また、世界規模で様々な課題が噴出している状況を踏まえ、川崎臨海部の世界最先端の技術・研究を通し世界の都市間における交流でも積極的にリーダーシップを取るよう求めました。

市長は「環境技術を中心に世界に貢献し本市の発展につなげたい」と約束しました。



「川崎国際環境技術展2017」に出席したデンマーク大使フレディ・スヴェイネ閣下と親しく懇談する「すがわら進」議員

地域実績 東生田2丁目の浸水が解決!

「すがわら進」議員に東生田2丁目の住民の方から大雨が降ると前の道路が水があふれて困っている、との相談がありました。ゲリラ豪雨の時はヒザ上まで水に浸かる状況でした。早速、「すがわら進」議員は市と相談し、対策に取り組みました。

その結果、メイン通りの排水管の整備を待って工事が実施されました。「異常気象と言われる昨今ですが長年の地域の悩みが解消し、これで雨が降っても安心できます」と皆さんから喜びの声が寄せられました。



工事完成を喜ぶ中川薫さん(左)、米山春雄さん(中)、ライ子さん(右)ご夫妻

トピックス 活動TOPICS

7/9 室蘭市の工場夜景を視察

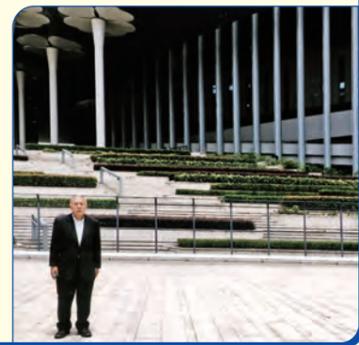
「すがわら進」議員は、観光の目玉となっている室蘭市の工場夜景など同市の観光事業を視察しました。室蘭市は太平洋に面した良港であり、北海道でも有数の工業都市。近年、工場夜景が人気スポットになっています。代表質問で「すがわら進」議員が川崎市の観光資源を取り上げましたが、本市も一層の努力が必要です。



7/12 上海市の国際展示場を視察

上海の国際展示場は、総建築面積147万平方メートル、地上建築面積127万平方メートルで、単体面積で世界最大級の建築物【右下の写真】といわれ、展示会場も兼ねた総合施設。

上海市の虹橋エリアに建設中のこのコンベンション・センターを「すがわら進」議員は視察しました。一般質問で同議員が強く訴えたように本市も未来を見据えてこうした事業を誘致すべきです。



市議会議員 すがわら進 暮らしの110番

市民相談
お気軽に!

控え室 電話：044-200-3361
 自宅 電話：044-933-2043
 FAX：044-933-1950

すがわら進のHPがスマホ・タブレット対応にリニューアルしました!

URL <http://www.susumu-news.com>

すがわら進のメールアドレスが新しく変わりました!

E-mail s@susumu-news.com



すがわら進の
プロフィール

●昭和22年 秋田県生まれ ●海城学園中等部・高等部、中央大学法学部卒 ●デンマークの船会社に18年間勤務
 ●川崎市議会議員に5期連続当選 ●公明党党本部中小企業活性化対策本部委員、県本部副代表、川崎市議会前副議長、多摩第2支部長 ●中央大学学生会幹事・学校法人中央大学前評議員 ●海城学園海原会常任幹事